

10
月号

いっしん

第309号

平成22年(2010年)

自分が頂いた
ありがたひと神様の道と
伝えたいと願うほかに
は何の望みもない
甘木親教会
初代親先生のみなさん

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県姶良市加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp ホームページ http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki

甘木親教会二代教会長 安武文雄大人 十五年祭 平成22年12月23日(祝)

甘木親教会初代教会長 安武松太郎大人 六十年祭 平成23年2月4日(金)

加治木教会 布教六十年記念大祭 平成23年 5月 29日(日)



秋季霊祭

秋分の日、教会では秋季霊祭が仕えられました。ご神前で奏上祭が仕えられた後、ご霊前に移られ加治木教会にご縁のある教徒から信徒のすべてのご霊神のみ名を読み上げてご霊神様にお礼申しお慰め・お称え申して親神様の恵みを受けられてひときわ高い位のご霊神となられてご安心され、家族親族を守り導くお働きができればよろしくお祈り申し上げるみ祭が仕えられました。

九州開道の祖、小倉教会初代教会長 桂松平先生(今秋布教百二十五年記念大祭を迎えられる10/20(水)は、天逝されたご子息の霊祭を葬られてある御本部の墓前で仕えられたとき大切な御用でその祭事に参列できず後で墓前に参拝されたところ、ご子息の霊様がお現れになられ「霊祭を仕えていただいて有難かつたけれども知らない人ばかりの参列で寂しかった」と仰せられ、桂先生は断りを申し上げられ「小倉に帰って再度家族や親しい人たちで霊祭をお仕えしよう」と仰せられ小倉教会に帰られて手厚く霊祭をお仕えになられたとのこと。

今秋も教徒・信徒一同、心を尽くしてお仕えさせていただきました。

加治木教会 秋季霊祭 …… P1
甘木親教会 信徒研修の集い …… P2~3

信徒研修の集い報告会 …… P4
青年のひろば …… P5~6
教会行事 …… P8



みちわけ会館研修室にて開会式

甘木教会 手続・関係教会 信徒研修の集い

九月四日(土)～五日(日)

今年で第四十回を数える、甘木親教会の「信徒研修の集い」が九月四日(土)～五日(日)にかけて開催され、今年には加治木教会から三名が参加させていただきました。



朝御祈念にも出らせていただき、奥津城参拝後境内の清掃もおおかげを蒙らせていただきました。



「弥生会館」1階に食堂・各部屋で班別懇談

初日は、甘木親教会親先生のご教話を聴かせていただいて、班別懇談が始まり、一泊二日でまさに膝を突き合わせて、重厚な信心談義・信心研修をおかげ蒙らせていただきました。

加治木教会は、来年春に六十周年の記念祭を迎えさせていただきます。このところ加治木教会の親先生は「このたびの記念祭は、形だけ立派にできる記念祭でなく、信心が確かに継承され周囲に伝わることで、真に人に伝わり人が助かることのできる、真の信心が自分自身の中に生まれ育つ、形よりは内容が立派に育つ記念祭とさせていただきます。まじょう」とお話されています。

甘木親教会に伝わり、甘木教会から発信され続けている、力強いご信心の空気に触れて、信心の要諦を持ち帰り、矢野クラ様のような「親神様・親先生にお喜びいただけるご信心」とならせていただかねばなりません。

* 班別懇談や全体研修では「泰平の眠りを醒ます蒸気船」と取ることができ、ぬるま湯に浸かって居眠りをしている信心の眼を覚まして下さるような、意見や発表を何度も聴かせていただきました。

班別
懇談

【班別懇談や全体研修での 意見・発表の一部】

途中で研修会から帰る参加者に対し「私方の親先生は『一日二日病気で休んだと思つて腰を据えておかげ頂かねばなりません、病気で何日か休んだと思えば一日二日どうにでもなる』と仰せられていました。神様の御用・行事、み教えの一言を何と思つているのか、無い命を助かるというほどのことがあるのに、自覚が足りていないのでは」とお話されてきました。

主人も私も毎日お参りしていません。主人は五十七才、とても優しいのですが教会行事に対してはどんな用事があつても最優先で、そこだけは頑として譲りません…。

数年前に会社が福岡から撤退しリストラの憂き目に合いました。本社へ転勤を勧められましたが遠方であるため、教会参拝ができなくなるので断りました。その後始めた商売が、厳しいこんな時代なのに、おかげを蒙らせていただき、軌道に乗らせたいただいています。

主人は〇〇会の会長でお世話係をさせていただき、甘木親教会のゴルフの会にもおかげを蒙らせていただいています。私は五十一才、このたび連合会の女性の会 会の会長の御用を頂きました。仕事はJAの支店長をしています。子ども三人、いつも習慣のように少年少女会に出席し、バンド隊にもおかげ頂いています。家族一同元氣いっぱいです。主人はほんとに優しいのですが、教会の行事となると第一に考え絶対に

譲りません。それで家族じゅうがおかげ頂いていると思えます。

私は牛の種付けの仕事をさせていただいています。以前、朝参りをしないで仕事に行っていました。今は、仕事が終わって家に帰るのがいつも十一時頃になって大変でした。しかし、教会でみ教えを頂いて、朝参りをして前日のお礼と、当日の種付けのお願いするようになりました。すると、帰宅時間が早くなり、八時頃には帰ることができるようになりました。種付けの着床率も良くなり、仕事にお繰り合わせを蒙らせていただいています。毎月三日には、親先生のお伴をして親教会参拝の運転の御用をさせていただいています。

私は木にロープをかけて首を吊つて死のうと思つていましたが、人に導かれて信心させていただきました。になり、おかげを蒙らせていただいています。

甘木教会 手続・関係教会

「信徒研修の集い」報告会

九月二十二日 共励会にて

九月二十二日の月例祭後の共励会では、甘木親教会「信徒研修の集い」に参加された方々を囲んで、報告会が開かれました。



*

七十名ほどの参加者があり、親先生のご講話があり、七十年ほど前の甘木教会や初代親先生の映像を見せただき、六班に分かれて班別懇談がありました。

班別懇談では「信心をどのようにして伝えるか」ということが課題となっていました。そこで出ていた意見は、

態度で伝える。

改式をして伝える。

子どもや孫にいつでも話す、話し

下手でも場数を踏んで。

子どもたちが引越して行く先々で教会に参拝しお取次を頂いていく大事さを伝える。

神様からご時節を頂いて、伝えさせて下さる。

伝えるより、私が伝わるような信心をさせていただくことが大切。

という意見が出ていました。

また「病気になるっても、病人にならないように」、「信心が大切にす

優先順位を、御用・公用・私用と決めて神様の御用を第一にして行くことが大切」、「甘木教会の信者さん方の御用は素晴らしい」、「自分の教会の先生に惚れ込むこと、言われたことを素直にハイと頂くことが大切」とお話しされました。

*

参加されてある方は朝参りをされてある方が多かったです。朝は五時半の御祈念で毎朝班別懇談があつているとのことでした。夜は八時の御祈念に参拝されるということでした。

*

「信徒研修の集い」に参加させていただいて何度目かですが、意見を発表するというよりまだまだ、話を聴かせていただいで勉強させていただくことばかりです。

加治木教会の記念祭に向けて、取り組むべき信心内容が、出される意見や話題の中に端的に示されており、おろそかにできないことばかりで、その内容に驚かされます。(A)

鹿児島地方教会連合会主催

青年のひろば

開催される

九月二十五日(土)・二十六日(日)、霧島市「仙寿の里温泉」(瀬尾田鶴子さん経営)において、鹿児島地方教会連合会主催「青年のひろば」が開催されました。

講師には、直江和隆氏(金光教門司港教会在籍信徒・北九州教区青年フオーラム副委員長)をお迎えして、「共に育てる情熱!」という講題のお話を聴かせていただきました。



講話では、自身がお取次を頂き、み教えを頂いて行く中に心が改まるとともに病気が快復し信心の眼が開く体験をした、そうして知ることができたお道の信心の素晴らしさを家庭に職場に周囲の人たちに伝えようとする熱意を感じるお話でした。

特に感動的だったことは、「一般人に受け入れられる信心をさせていただきますしよう」という言葉で、勤め先の会社でも趣味で通うボクシングジムでも「金光教の信心をします」ということを素直に現すことができる信心をしてあることでした。



「会社でも『やりたくなる、情熱を生かす上司になることができる』という思いや人が感動し助かり生きる場を作っていくことが大切で、枠にとらわれない枠を越えた信心をして行きましよう」というお話しは感動的でした。

また、親娘で手作りされた紙芝居『ドラえもんアンパンマンの、教祖様まかせといて!』はよくできていました。小学校3年生のお嬢さんと一緒に演じられる紙芝居は、親子共に育つことに取り組まれてある家庭のようすが目に浮かぶようで、ありがたい、うらやましい、とうとう思いが参加者皆の胸いっぱい溢れるようでした。

親娘で作曲作詞され、直江氏のギターに合わせて一緒に歌われる『おしく食べよう』も素晴らしい曲でした。(加治木教会にもこの曲のDVD・CDがあります!)

講話後は、講師とお嬢さんを囲んでパーベキューをしながら夜更けまで語り合いました。

第二日も、膝突き合わせるようにして、お道のことや青年信奉者の育成のことなどを昼まで語り合いました。





親奥様 ↑

加治木教会の親奥様（サダ子親奥様）は九十一歳というご長寿のおかげを蒙られ、この秋には「敬老の日」「秋分の日」をお元氣にお迎えされたいがたいことです。

今年は、三月に肋骨にひびが入り、六月には帯状疱疹、八月には例年になく暑さのお恵みを体験され、異例続きでしたが、秋季霊祭にはお元氣に玉串を奉奠され、おかげを蒙られてあります。いっそうのご健康をお祈り申し上げます。

訃報

八月二十一日、堀元聡氏（八十三才）がお国替えされました。靈のご安心と道立てをお祈り申し上げます。

あしあと

加治木教会行事記録

- 9月
- 1(水) 報徳月例祭 10時半
- 4(土) 5(日)
- 6月(7)火 少年少女会 聯合本部 理事会
- 9(木) 斎掃御用 10時
- 10(金) 生菊金光 月例祭 10時半
- 14(火) 若婦人会 13時半
- 21(火) 斎掃御用 10時
- 22(水) 月例祭 共励会 13時半
- " 青年会 リーダーM(ミラノ) 兼 青年会
- 20時23(祝) 秋季霊祭 10時半
- 25(土) 26(日) 連青年のひろば
- 28(火) 琴稽古 13時半
- 30(木) 斎掃御用 10時

ご霊神様のおまじ

九月

平地セイ之霊神	平成14・10・01
春山陽子之霊神	昭和56・10・06
大木千鶴子之霊神	平成16・10・07
上田喜四郎之霊神	平成03・10・08
中野綾子之霊神	平成04・10・08
庄村徳二之霊神	平成02・10・13
瀬戸秀雄之霊神	昭和50・10・14
内村 健之霊神	昭和58・10・17
中野満行之霊神	平成12・10・18
春山住晴之霊神	昭和47・10・19
矢野仁吉郎之霊神	昭和30・10・26
福元フサ子之霊神	平成15・10・29

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

行事予定表



教会ブログ『あしあと』



※教会行事予定表やお知らせなどのQRコードです。ご利用下さい。

十月十日(日) 十時半より

月例祭に併せて

立教記念祭・新穀感謝祭 奉仕

記念祭奉迎委員会

※(祭典・教話後、新米の直会を頂きます)

十一月二十一日(日) 十一時

加治木教会

前日御用奉仕

生神金光大神御大祭奉仕

※(祭典後、講師の先生により)教話。

御大祭・記念祭

〔10月〕

11(日) 川内教会記念大祭 11時

20(水) 小倉教会記念大祭

31(日) 鹿兒島教会御大祭 11時

〔11月〕

7(日) 枕崎教会記念大祭 11時

14(日) 上荒田教会御大祭 11時

20(土) 大口教会御大祭 12時

21(日) 加治木教会御大祭 11時

28(日) 西鹿兒島教会御大祭 12時

十一月一日〜二十日
御大祭前信行期間

ご祈念・研修 午前五時三十分・午前十時
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

教会行事

10月

1(金) 報徳月例祭 10時半

2(土) 御本部御大祭

団体バス参拝出発 8時

3(日) 御本部御大祭

9(土) 斎掃御用 10時

10(日) 生神金光大神様 月例祭 10時半

併せて 立教記念祭 新穀感謝祭

続いて 記念祭奉迎委員会

11(祝) 川内教会 布教60年記念大祭

若婦人会 川内教会記念祭参拝

17(日) 大隈教会記念大祭

20(水) 小倉教会 布教125年記念大祭

21(木) 斎掃御用 10時

22(金) 月例祭 兵励会 13時半

青年会 ウィンダム(ミラージュ) 20時

30(土) 斎掃御用 10時

31(日) 鹿兒島教会 御大祭

未定 少年少女会

少年少女会 青年会 若婦人会は、都合により日程を
変更することがあります。随時連絡しますのでお気をつけ
下さい

11月

1(月) 報徳月例祭 10時半

7(日) 枕崎教会 布教75年記念大祭

9(火) 斎掃御用 10時

10(水) 生神金光大神様 月例祭 10時半

併せて 立教記念祭 新穀感謝祭

14(日) 上荒田教会御大祭 11時

20(土) 大口教会御大祭 12時

加治木教会御大祭前御用奉仕

21(日) 加治木教会御大祭 11時

22(月) 月例祭 兵励会 13時半

青年会 ウィンダム(ミラージュ) 20時

25(木) 連合会執行部会(上荒田教会) 10時半

28(日) 西鹿兒島教会御大祭 12時

30(火) 斎掃御用 10時

鹿兒島地方教会連合会

ひとつとべバンド

みんなで参加しましょう!

※月一回程度、練習日随時連絡。